

地域包括支援センターの今後のあり方について③

1 「東久留米市地域包括支援センターあり方検討委員会」について (報告)

(1) 開催履歴

- ① 第 1 回東久留米市地域包括支援センターあり方検討委員会(以下「検討委員会」という。)

開催日

平成 31 年 4 月 19 日

(2) 第 2 回検討委員会 (報告)

① 開催日

令和元年 7 月 17 日

② 議題・内容

- 地域包括支援センター (以下「包括」という。) の日常生活圏域について
各地域の高齢者人口、包括の設置基準を説明した上で、委員の意見を伺った
- 包括の経営資源配分について
包括の仕事量の分析に関するアンケートを包括センター長、介護福祉課職員 (包括担当) に実施した結果をもとに課題について共有した
- 26 市アンケート調査について
事務局の考えを説明した上で委員の意見を伺った

③ 主な意見

- 日常生活圏域について(圏域数・包括の設置数)
⇒ 地域づくりの枠組みや長期総合計画との関連も含めて考えていかなければならない。市民にとってわかりやすく、説明しやすい数がよい。
- 包括の仕事量の分析について
⇒ 市と包括が共に課題と感じている。総合相談の効率化について、今後具体策が検討できるとよい。

④ 今後のスケジュール

- 次回検討委員会 10 月
- 次回運営協議会 11 月(検討委員会での検討事項報告)
※ 検討委員会の詳細は、添付の「資料 3-2」参照